

処理水放出

識者評論

岸田文雄首相は関係閣僚会議を開き、東京電力福島第1原発にたまり続ける放射性廃水、いわゆる「多核種除去設備（ALPS）処理水」を24日に海に放出する方針を決めた。そのままでは法令に基づく放出基準濃度を超えているので海水で希釈する。

「廃炉と復興を進めるため」だそうだが、薄めても放射性物質がなくなるわけではない。漁業者をはじめとする多くの団体や地元議会の反対は無視された。

2015年、度重なる汚染水漏れを心配して提出された福島県漁業協同組合連合会の要望書に対して政府・東電は、関係者の理解なしにはいかなる処分も行わないと文書で回答している。

しかし、岸田首相は「漁業者との信頼は深まっている」と言う。「風評被害対策をしっかりとやります」と言われると、かつて「最後は金目ですよ」とうそぶいた大臣を思い出す。

海洋放出の話が出た当初から私は「第1原発からこれ以上余計な放射性物質を環境に放出すべきではない。放射性廃水は大きなタンクで貯留するか固化するかして、東電の責任で長期保管すべきだ」と言ってきた。

これ以上タンクを設置する場所がないというのであれば、約10キロ離れた場

貯蔵タンクの増設可能

所に廃炉が決まった福島第2原発がある。ALPSで除去できないトリチウムの半減期は12年なので、その10倍の120年たてば放射能の強さは十分の1に減衰し、もう120年たてば100万分の1になって自然界レベルと同じになる。

第1原発は東電が最初に建設した原発で、1号機的设计・施工は米国のゼネラル・エレクトリックが受注、1971年に運転を開始した。高さ30〜40メートルの崖を削って原子炉や建屋を設置したが、阿武隈山地からの地下水が流れてくる砂層があり、建設当時から水に悩まされた。

福島事故で1〜3号機の三つの原子炉がメルトダウンを起こし、溶融燃料で原子炉容器の底が抜け、燃料デブリが格納容器の底に堆積した。原発事故が厄介なのは、デブリが発熱を続けていることだ。この熱を冷却するため、今でも各原子炉で大量の注水が続けられている。



いまなか・てつじ 1950年、広島生まれ。原子力工学が専門。旧ソ連のチェルノブイリ原発事故の被害調査や福島原発事故の実態調査などに取り組む。

京都大複合原子力科学研究所研究員 今中哲二氏

デブリに触れて汚染された水は、壊れた格納容器から建屋の地下に流れ込み、外から入ってきた地下水と合流して汚染水となる。汚染水はポンプでくみ上げて地上タンクに保管されてきた。

原発の汚染水漏れについて「アンダーコントロールだ」と、当時の安倍晋三首相が五輪招致の会議で演説した13年ごろ、汚染水の総量は約30万立方メートルで、毎日400立方メートル増えていた。「氷の壁で地下水をシャットダウン」という触れ込みの凍土壁が完成したのは18年だったが、汚染水の増加が半分になった程度で、いまでは氷のスタレと皮肉られている。

第1原発で保管する放射性廃水量は現在約134万立方メートルで、タンクの残りの容量は3万立方メートルだ。だが、第1原発敷地内でもタンクの増設はまだ可能だ。

政府・東電がやるべきは、まずは海洋放出を中止して関係者の意見を聞き、同時に地下水の流入を防ぐ頑丈な遮水壁を、壊れた原子炉の周りに設置して根本的な流入防止対策を進めることだ。

これまで多くの方々の理解、とりわけ消費者の方々の理解を私たちは求めてきた。政府も最近になり駆け足でPR活動に努めているが、もう少し早くから積極的に行うべきだったのではないかと。

中国が日本の水産物の輸入をより厳しくする姿勢を示している。検査のために輸出された水産物が長く留め置かれているとの情報も既にある。

鮮魚は長く留められると商品価値が下がり、そのうち流通できなくなる。そうなる前に国として手を打てなかったのか。中国の輸入規制強化で日本の水産業全体が大きな打撃を被るかもしれない。そんなタイミングでの海洋放出に大きな疑問と不安が募る。

そもそも政府と東京電力は2015年、処理水について「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」と約束した。それを本当に破るのか。破られると今後、政府や東電と約束などできなくなる。

今までの過程を見ると、東電と国が言ってきたことに疑問を抱かざるを得ない人が多いのではないかと。処分方法を検討した時、海洋放出は当初、処分期間が7年超で費用は34億円と見積もられた。それが今では、風評被害対策の費用も加味すると、その10倍以上のコスト増が見込まれ、放出期間も30年以上だ。

1枚目の記事を読んで後の問いに答えましょう。

1 筆者は政府や東京電力が言ってきたことや行ってきたことに疑問を持っています。政府や東電はこれまでどんなことを言ってきましたか。本文中から3つ読み取ってまとめましょう。

2 筆者は処理水の放出をやめて、どうすればよいと言っていますか。本文中からすべきことを3つ読み取ってまとめましょう。

3 あなたは処理水の海洋放出をどう考えますか。他の記事やトリチウムの除去方法などを調べ、あなたの意見を根拠を示しながら400字以内で書きましょう。

* 処理水：放射能汚染水に含まれる放射性物質の大半をALPS（多核種除去設備）で除去した後、取り除くことが難しい「トリチウム」など一部の放射性物質を含んでいる水。

* 半減期：放射性物質が放射線を出す能力（放射能）が元の半分になるまでの期間

1

①
②
③
④

のうち3つ(同意可)

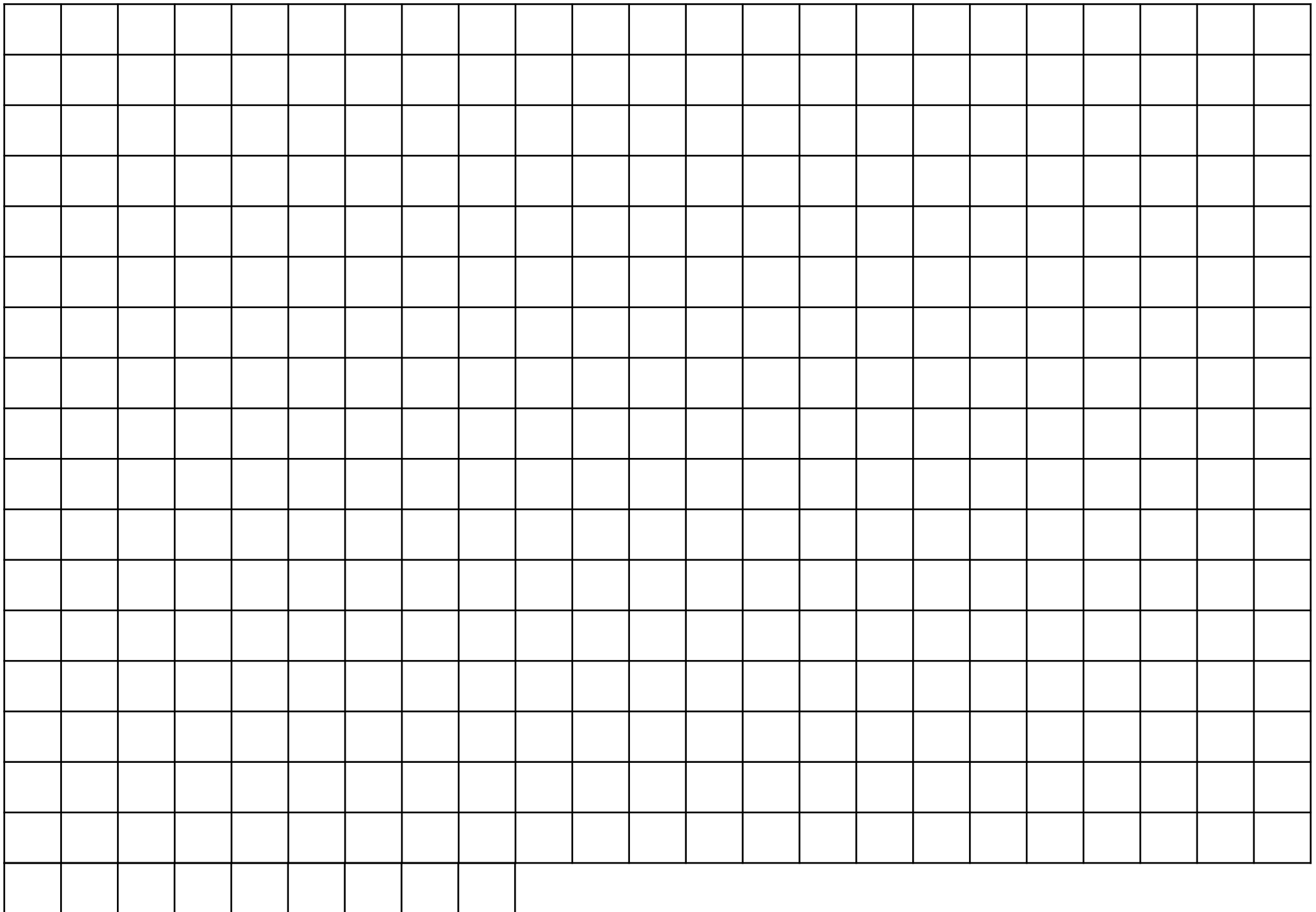
2

①
②
③
④

のうち3つ(同意可)

3

横書き



NIEワークシートのこたえ（2023年8月23日公開）

ワークシート「処理水放出識者評論(小論文対策)」2023.8.23付 朝刊 政治 解答例

1

①2015年福島漁業協同組合連合会の要望書に対して、政府・東電は関係者の理解なしにはいかなる処分も行わないと回答したが、漁業者や地元議会の処理水放出反対の意見を無視した。

②これ以上タンクを設置する場所がないと言うが、タンクの残りの容量は3万立方メートルあり、第1原発敷地内にも、10キロ離れた福島第2原発にも設置できる。

③安倍元首相は五輪招致の時、汚染水漏れを「アンダーコントロールだ」と言ったが、実際は毎日400立方メートルの汚染水が増え続けていた。

④「氷の壁で地下水をシャットダウン」と言われた凍土壁は、汚染水の増加を半分にしかできなかった。
のうち3つ(同意可)

2

①福島第1原発のまだ空いている場所や、10キロ離れた福島第2原発の敷地内にタンクを増設して汚染水を貯留するか固化し、東電の責任で長期保管する。

②地下水の流入を防ぐ頑丈な遮水壁を、壊れた原子炉の周りに設置して根本的な流入対策を進める。

③トリチウムの半減期は12年なので、120年たてば放射能の強さは千分の一に、もう120年たてば100万分の一になって自然界レベルと同じになるので、それまで管理保存する。

④関係者の意見を聞く。
のうち3つ(同意可)

3

自由記述